

非結球レタス（リーフレタス） 冬どり（品種：ハワイ2号）

海匠農林振興センター

1 地区名（集団名）

旭市飯岡地区（飯岡洋菜部会）

2 栽培戸数、面積、収穫量又は出荷量、出荷先又は販売方法

- (1) 栽培戸数 55名
- (2) 栽培面積 27.6ha
- (3) 収穫量又は出荷量 537t
- (4) 出荷先又は販売方法 市場出荷

3 ちばエコ基準達成状況

| 区 分 | 実施状況 | ちばエコ基準 |
|--------------|-----------|------------|
| 化学合成農薬(成分回数) | 5回 | 7回 |
| 化学肥料（窒素分量） | 7.5kg/10a | 12.5kg/10a |

4 事例のあらまし

旭市飯岡地区では、冬季の主力品目の一つとしてリーフレタスが生産されています。専業農家が多い当地域では農業所得も高く、多数の農業後継者がいる活気あふれた産地です。近年、消費者や実需者の食に対する安全・安心への関心が高まる中、制度創設当初の平成14年より「ちばエコ農業産地」の指定と「ちばエコ農産物」の認証を受け、栽培に取り組んでいます。栽培にあたっては統一栽培暦に基づく生産、栽培履歴の記帳の徹底とともに、堆肥の投入を中心とした土づくりや、エン麦等の地力増進作物を輪作体系に組み入れるなど持続的な農業を実践しています。

5 背景・動機

旭市飯岡地区は、千葉県の東部、九十九里浜の東端に位置しています。形部岬、銚子半島へと続く屏風ヶ浦と太平洋が一望でき、北は表層が関東ローム層で覆われた北総台地で、海洋性の温暖な気候と肥沃な土壌により一年を通じてメロンやキャベツ、だいこん、リーフレタス、パセリなどが栽培されている農業が盛んな地域です。

リーフレタス産地としては、平成元年にJAの品目部会制の導入により50名を超える賛同者でリーフレタス部会が発足し、JAを中心とした一元集出荷体制が整いました。消費動向をいち早くキャッチし、消費者に安全で安心、新鮮な農産物を提供することを

目的に、平成10年から環境に配慮した栽培が始まりました。堆肥投入や緑肥作物のすきこみなどによる土づくりや、化学農薬及び化学肥料を出来るだけ控えた環境保全型農業に積極的に取り組み、平成11年には国の特別栽培農産物に係るガイドラインに従った減農薬栽培へと発展していきました。このような下地があったため、「ちばエコ農産物」の認証制度への取り組みはそれほど難しいものではなく、制度が創設された平成14年より認証を受け、現在に至っています。



6 栽培方法

(1) 播種及び育苗

200穴程度のセルトレイへコート種子を播種し、コートが少し見える程度に覆土します。下穴から水が出るくらい十分に灌水し、根巻き不足の防止として20cm以上の高床にします。育苗期は害虫の侵入防止及び高温対策として白寒冷紗等で日よけをします。また、育苗中の多湿は病気を助長するため、灌水は土壌表面が白く乾いてから午前中に行い、夜間に余分な水分は残さないようにします。

(2) 定植

リーフレタスは初期に乾燥等で活着不良を起こすと生育が滞ります。定植直前に一度セルトレイへ灌水、さらに定植後も株ごとにも散水を行い、活着の促進を促します。また、ネキリムシ類による食害を防止するため、定植時にカルホス微粒剤Fを散布します。

(3) ベタがけ被覆

定植後、ただちに寒冷紗や不織布等をべたがけします。これにより強風による株傷みの防止と害虫の侵入防止ができます。べたがけを実施した場合には初期の害虫発生は現地ではほとんど見られません。

なお、べたがけ被覆は株がある程度育った段階で（2週間から1ヶ月を目安に）除去します。

ア 栽培管理（産地事例より）

| 作業名 | 実施年月日 |
|--------|------------|
| 前作収穫終了 | 平成17年7月25日 |
| 播種 | 9月10日 |
| 耕起 | 10月7日 |
| 定植 | 10月7日 |
| 病虫害防除 | 9月5日～11月7日 |
| 収穫開始 | 12月12日 |
| 収穫終了 | 12月22日 |

イ 使用資材

(ア) 土づくり・施肥等

(10a当たり)

| 使用銘柄 (N:P:K) | 実施年月日 | 施用量 | 全 N | 化学N |
|-----------------------|------------|-------|------|-------|
| 豚ふん等 (土づくり) | 平成17年8月11日 | 2 t | | |
| 苦土石灰 | 10月7日 | 60kg | | |
| 苦土重焼燐 (0:35:0) | 10月7日 | 40kg | | |
| マイルドユーキ030号(10:13:10) | 10月7日 | 160kg | 16kg | 7.5kg |
| 合 計 | | | 16kg | 7.5kg |

(イ) 病虫害・雑草防除等

| 使用農薬 | 対象病虫害 | 実施年月日 |
|-----------------------|--------------------|-----------|
| テロン92 | ネグサレセンチュウ、ネコブセンチュウ | 平成17年9月5日 |
| カルホス微粒剤F | ネキリムシ類 | 10月7日 |
| アフーム乳剤 | ハスモンヨトウ、オオタバコガ | 11月7日 |
| アドマイヤーフロアブル | アブラムシ類 | 11月7日 |
| トップジンM水和剤 | 菌核病 | 11月7日 |
| 化学合成農薬使用回数5回（総使用回数5回） | | |

(4) トンネル被覆

平均気温が10℃以下になる11月中下旬頃にトンネル被覆（厚さ0.1mmビニール）を行い、寒害防止に努めます。被覆当初は両裾を開けておき、厳冬期に入ったら北側を下ろします。換気が不足するとトンネル内の湿度が高くなり、病気の発生を助長します。

なお、トンネル被覆前にすそ枯れ病や菌核病の防止として予防効果のある殺菌剤及びオオタバコガ等の害虫防除として殺虫剤を散布しておきます。防除のタイミングを見極めることが結果的に化学農薬の削減につながります。

7 今後の展望等

現在栽培されている「リーフレタス」はサニー、グリーン、フリル、コスレタスと豊富な種類があり、全体の栽培面積は40haとなっています。このうち、「ちばエコ農産物」の認証を受けているものはサニー及びグリーンレタスが中心です。今後は他の種類でも認証を検討し、「ちばエコ農産物」の生産拡大を図っていきます。

飯岡地域では「リーフレタス」の他にキャベツ、だいこんにおいても積極的に「ちばエコ農産物」の認証を受けています。冬季にほ場を巡回すると「ちばエコ農産物」の看板がいたるところに立っているのがわかります。今後は消費者・実需者への積極的な農産物PRはもちろん、当地域が環境に配慮した農業の意識が高い地域であることを活用し、「地域の売込み」をもっと積極的に行ない、有利販売につなげていきます。

また、隣接している海上地域において新たにリーフレタスの栽培が開始されました(本年度3.5ha)。今後は海上地域においても生産規模の拡大、安定生産支援を図るとともに、「ちばエコ農産物」の認証へ取り組んでいきたいと考えています。